

令和 6 年度 第三回運営委員会 議事録

日時：令和 7 年 2 月 18 日(火)10：30～12：00

場所：多目的室

参加者：斎藤校長、石山教頭、執行部(並木、加藤、平野、相澤、山内、佐藤、伊藤、松本)、各委員会正副委員長・学校応援団(高橋(絵)、根末、押田、小林、吉田、吉澤、駒澤、矢野、荒井、石川、高橋(い))

各学年学級代表委員 35 名 計 56 名(欠席者 14 名)

1) あいさつ (校長先生・校外会長・校内会長)

【校長先生】別紙参照

【校外会長】 加藤さん

今日が最後の運営委員会です。報告することが多く大変ですが、よろしくお願ひいたします。
一年間ありがとうございました。

【校内会長】 平野さん

このメンバーでの運営委員会は最後です。お忙しい中、ありがとうございました。
皆さんのおかげで、無事に 1 年間を終えることが出来そうです。ご協力ありがとうございました。

2) 連絡事項 (教頭先生)

< P T A 室の引っ越しに関して>

現在、パソコン室から概ね物がなくなり、パソコン室を整えています。
まだ使用する物が P T A 室にある場合、一度パソコン室へ運んでください。
その後、P T A 室を教室にする為の工事をします。
終業式のあとに荷物を新しい P T A 室へと運びます。
引っ越し期間、何がどこにあるか分からぬ状態になる可能性があります。その都度問い合わせてください。

＜小学校のHPに関して＞

今までPTA活動内容をHPに掲載してきました。

来年度から、学校応援団などへ運営が移行するという事を、3月～4月にかけてお知らせしていきます。

HPを見て、変更されていないものがあれば、隨時、連絡してください。

3) 各委員会活動報告と連絡事項 (別紙参照)

＜補足＞

【卒対委員会】2/28 第2回目集金・3月卒業アルバム、卒業記念品の搬入

【ぴかぴか隊】3/14 活動予定

【とおほく広報室】2/19 とおほく最終号配布・教職員紹介の特別号は休刊

【学校応援団】2/20 地域学校共同活動講演会

4) 臨時総会報告

5) 議案

(1)PTA しおりの改定について

6月の総会で「令和7年度のしおりの改定」の決議を取る

令和7年4月～総会6月までは、「旧版のしおり※令和6年5月発行」と「臨時総会で決議された内容」で運営される

主な改定の内容

- ・PTA非加入届提出からPTA加入届提出へ変更

加入は自動更新。退会希望の場合は前年度までに非加入届けの提出が必要。

- ・PTA組織図の変更

委員会・役員会を無くす。

会員からの意見・要望などは、直接、運営委員会(執行部と有志会員)で協議する。

※訂正：臨時総会の際、運営委員会はなくなると言ったが、参加者募集型として運営委員会は継続させていただく。

・執行部の役割と活動内容の変更

執行部役員の人数を減らす。

活動内容に、学校応援団のサポートを追加する。

・執行部役員／教養・鑑賞教室の選出方法の変更

互選の会、役員選出は無くし、共に立候補制とする。

・役員経験者の免除制度の変更

執行部経験者は、きょうだいを含めた「地域連携保護者の会」の『正副役員選出』『役員選出』の際に免除制度を利用できる。

委員会の正副委員長経験者は、正副委員長経験に該当する児童の「地域連携保護者の会」の『正副役員選出』『役員選出』。

きょうだいを含めた「地域連携保護者の会」の『正副役員選出』の際に免除制度を利用できる。

・総会・運営委員会の変更

運営委員会は、年3回の開催から、必要に応じて開催することに変更。

※訂正：3ページ目に残っていた文言「役員会」は削除

・PTA予算の変更

全家庭から1,000円を集金することをやめ、一家庭あたり一口1,000円／年～を目安にとして寄付を募る。

寄付金は活動費にあてられ、活動にかかる諸費用・慶弔費等に使用。

予算委員会は執行部で行う。

質問なし。

賛成多数で可決

(2)令和7年度予算について

令和6年度まで会計は、本会計・児童還元特別会計の2種類あったが、

令和7年度からPTA会費が寄付金になることから、PTA会員・非会員どちらも不公平にならないように会計をまとめることとする。

※令和 6 年度までの体制。これらをまとめる。

本会計：PTA 会費を主な収入源とし、PTA 活動をする際に使用するお金

児童還元特別会計(特別会計)：資源回収収益金を主な収入源とし、児童や資源回収に協力している地域の人に還元するお金

第 3 回役員会(予算委員会)で決まった内容を報告

資料②-収入の部

令和 7 年度-予測額について

PTA 体制の変更(寄付金・資源回収システムの変更)後、はじめての年度になるため、予測額を記載。寄付金を募った後、正確な金額を入れる。

会費と寄付金について

会費は寄付金になるため削除、あらたに寄付金の摘要欄を設け、予測額を入れる。

PTA 活動に賛同いただける方に任意でご協力いただく「募金」に変わる。

寄付金は一家庭あたり一口 1,000 円／年～

時期は 6 月を予定。

会員・非会員は問わない。

資源回収収益金について

予測額を入れる。

※アルミ缶 1 キロ 200 円程

資源回収の詳細は下記、「6)執行部からの連絡-資源回収について」を参照

雑収入について

預金口座の利子と助成金があれば入る。

繰越金について

前年度の繰越金が入る。来年度は本会計・特別会計が一緒になるため、両方の繰越金が入る。

資料②-支出の部

活動費用について

印刷機のリース代／176,880 円 1 か月 14,740 円

印刷機のリースの詳細は下記「★印刷機リース費用について」を参照

活動費／削除

学級代表委員／委員会解散・削除

ベルマーク委員会／児童委員会に移行・削除

教養・鑑賞委員会／教養・鑑賞教室(有志の団体)に移行・削除

地域代表委員会／地域連携保護者の会という別組織となる・削除

卒対委員会／学校応援団に移行・削除

とおほく広報室／休会のため記載なし

児童活動補助費／令和 5 年度の第 3 回役員会(予算委員会)より：備品や設備以外で児童に使用する物を購入する費用。予算は令和 6 年度までの予定。削除。

【新設】教養・鑑賞教室(有志の団体)／35 万

＜内訳＞

公演料 32 万

公演関連費、給食試食会など 3 万

【新設】児童活動サポート費用／8 万 解散・移行した委員会等を当面サポートする費用

＜内訳＞

ベルマーク(児童委員会)／3 千 郵送料

卒対(学校応援団)／1 万 諸雑費

ぴかぴか隊(学校応援団)／2 万 花苗・園芸用品

おはなしよむよむ(学校応援団)／2.5 万 特別読み聞かせ料金・講師へのお礼

新規の学校応援団／2.2 万 サポート費用が必要と判断された場合

雑費／1 万 シルバーさん・交通指導員さんへ 1 人 1,000 円程度／4 人 のお礼

管理費について

会議費／削除

器具備品消耗品／15 万 印刷機のインク代・事務用品、備品、消耗品の追加購入費・印刷機引き上げ時にかかる費用

交通費／1 万 市 P 会議出席・研修会へ出向くための費用。

※公共交通機関利用は実費精算。自家用車(一台あたりで請求)：四市内一律 300 円、四市外は公共交通機関の利用料金に換算

PTA 保険／学校応援団の保険適用範囲での活動。削除

慶弔費／6 万円 卒業式・入学式の演台に置く花代 各 2.5 万・香典見舞金 1 万円

負担金／5,000 円(市 P に確認中。不要なら後日削除)

予備費について

印刷機の契約終了までのリース代・引き上げ料、60周年記念費を含む
印刷機のリース代に関しては下記「★印刷機リース費用に関して」、周年記念費に関しては
下記「★周年記念積立金・周年記念費用に関して」を参照。

★印刷機リース費用に関して

契約期間：2022年12月23日～2027年12月22日

契約料：年間176,880円（14,740円／月）インク代は別

引き上げ料：3万以上（2024年9月業者問い合わせ時点） 契約満了時、引き上げ料は人材
費値上がりが予想されるため、さらに料金が上がる。

引き上げ完了までに必要な金額：約36万（令和8年度176,880円+令和9年度132,660円
+仮引き上げ料5万）

★周年記念積立金・周年記念費用に関して

PTA費用でまかない、予算案の中には入れず、予備費の中で管理している。

令和10年の60周年まで、予備費の中で、毎年5万円ずつ積み立てる。

実際に使用するかは、60周年記念時に判断してもらう。

必要な金額：25万

令和10年に25万が必要。集金から寄付金となり収入源の見通しがつかない。令和10年までの予備費の中で25万を割らないようにした方が良い。

●令和8年度に必要な予備費／81万円 印刷機リース36万+周年記念25万・寄付金を募
るまで繋ぎ金20万

資源回収収益金・地域への収益金の還元について

校外会長より各町内会町に「今後は還元なし」で了承を得た

卒業記念品に関して確認

第2回運営委員会・会計資料の中で、「PTAからは卒業記念品代は出さない。」と明記があ
ったが、その後、反対意見が出た。

改めて第3回役員会で「PTAからの記念品が必要か」を聞いたところ、「区切りをつける。
来年度からPTA予算の卒業記念品は不要」という意見が出た。

→役員会では賛成多数。PTA 予算からは卒業記念品は出さないことが決定した。

鑑賞教室の公演料に関して確認

公演料の予算は基本 32 万円。

第 3 回役員会にて、「資源回収収益金や寄付金が多く集まった際、PTA 運営に支障がない範囲で、PTA 会員の承認を省いて公演料予算を増額することは可能か」問うたところ、
「寄付金を集める際、案内用紙に『寄付金が多く集まった際は鑑賞教室の公演料に使います』等、用途を明記するとよい」という意見が出た。

→役員会では賛成多数。寄付金のご案内に用途を明記する。

児童活動補助費に関して確認

今年度まで「児童活動補助費」の予算がある。昨年度はタッチペンを購入。

今年度まで予算がついているが、使用するかを問うたところ、「児童 1 人あたり 200 円の予算で手配するのは大変、検品にも手間がかかる。予算は今年度までで、来年度から寄付金になるので、わざわざ使用しなくてもよい」という意見が出た。

→役員会では賛成多数。令和 6 年度予算にある児童活動補助費は使用しなくて良い

質問なし

賛成多数で可決

6) 執行部からの連絡

令和 7 年度執行部役員紹介

※副会長に教頭先生が入る

資源回収に関して

全家庭を対象に看板係の有志を募集し、20 件の立候補があった。

新しい回収場所は近日全家庭に向けて c4th で配信する。HP にも掲載予定。

配信後、自身が利用している回収場所が継続か廃止かを確認してほしい。

有志拠点 20 か所以外は 3 月 4 日以降廃止。廃止になる回収場所には看板に廃止をお知らせする用紙を貼る。用紙は地域代表経由で手配する。

小学校内に資源回収場所を設置。詳細は後日。

回収場所がマンション敷地内の場合は、マンション住民のみが出すようとする。

臨時総会では有志拠点は 5 か所、有志募集は 4 月としていたが、変更になった。何かあれば執行部へ連絡してください。

PTA 運営員会校長先生 あいさつ

日頃より、本校の教育活動にご協力いただき、ありがとうございます。

今年度の教育活動を実施するにあたり、PTA の皆様方にご協力いただいたおかげで、行事などを滞りなく実施することができました。

学校は、保護者の皆様のご協力をいただくことで、児童の教育活動の幅を広げることができます。

校外学習の補助、芸術鑑賞教室、ベルマークの収集活動、ぴかぴか隊の活動、読み聞かせ活動等、様々な皆様方の取組が、児童の心を豊かなものへと誘っていました。

来年度は、PTA の組織も改変され、活動の内容も見直しが図られています。

組織の見直しはとても大切なことですし、時代に合ったものにすることは、お互いのストレスを軽減するものとなります。

ただし、ここで、忘れてはいけないことは、PTA 活動の意義についてです。世間一般では、「不易と流行」という言葉で表現されていますが、今まで、PTA 活動として児童のために有益だったものは、形を変えたとしても、同じ気持ちで進めていただければと存じます。

学校も令和 7 年度に向け、教育計画の見直しを進めております。その一部を本日より始まります懇願会にてお知らせします。

また本校は、令和 8 年度より 3 年間、長寿命化工事を予定しております。この工事期間中も保護者の皆様方にご理解、ご協力いただくことが、予想されます。

引き続きの連携・協力をお願い致します。

PTA の皆様方に支えられ、令和 6 年度の東北小学校の教育活動もここまで、大きな事故なもなく、進めることができました。

令和 6 年度のまとめにこの時期をさらに大切に、そして、子供たち一人一人のよりよい成長のために、最後の一日まで努力して参ります。

PTA 運営員の皆様並びに保護者の皆様には、本校の様々な教育活動でお世話になりました。感謝申し上げます。

一年間お世話になりました。ありがとうございました。